

《令和7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和8年3月末 現在

施設名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
診療情報管理室	<p>県内の「院内がん登録情報」を収集・分析する体制整備(院外：都道府県がん拠点病院の役割)</p>	<p>1. 都道府県拠点病院の指定要件として、今年度は県内49病院の2023年症例施設別がん登録数と治療数の情報収集と部会で承認を得た協議会ホームページ広報の更新が未である</p> <p>2. 院内がん登録のルール変更や5大がん以外の病期分類(中級者レベル)登録に困っている実務者が多い</p> <p>3. 実務者が相談できる場が少ない</p>	<p>【院外業務】</p> <p>1. 2023年症例の県内がん登録部会の登録数と5部位がん(大腸・肺・胃・乳・前立腺)治療法の収集と協議会のホームページに広報を行う</p> <p>2. 年に2回院内がん登録実務者ミーティングを開催し研修や統計活用などを通し実務技能の習得と登録精度向上を目的に持ち回り当番病院と連携して会の企画・運営を行う</p> <p>(1) 第1回R7年11月28日予定 (ハイブリット予定) 当番：西脇市立西脇病院 テーマ：がん登録精度向上について(リフトウェア等)</p> <p>(2) 第2回R8年2月3日(講義形式ZOOM)予定 当番：兵庫医科大学病院 テーマ：食道・小腸・肛門管などの解剖とUICC TNM病期分類・演習含む3時間 予定 講師：国立がん研究センター 江森氏</p> <p>3. 実務者有志のメーリングリストを活用し県内実務者の相談支援を行う</p>	令和8年3月	○	達成	<p>1. 「兵庫県がん登録情報」として49病院より2023年症例の部位別がん登録数と5部位がん(大腸・肺・胃・乳・前立腺)治療法の収集を行い統計を作成した・承認を得て協議会ホームページに広報した</p> <p>2. 実務者ミーティングを計画通り当番病院と連携して開催した</p> <p>(1) 開催日：第1回R7年11月28日 当番：西脇市立西脇病院 テーマ：公表案と還元情報利用検討 参加者：37施設 (会場44名、Web14名、計58名参加)</p> <p>(2) 第2回R8年2月3日(講義形式ZOOM) 当番：兵庫医科大学病院 テーマ：食道・小腸・肛門管などの解剖とUICCTNM病期分類・演習など3時間 講師：国立がん研究センター 江森氏 参加者：112施設270名</p> <p>3. 県内実務者相談支援 21件実施した</p>	継続	<p>1. 部会で承認された2023年症例の兵庫県院内がん登録の収集と広報を行う</p> <p>2. 県内持ち回りの当番病院と協力し年2回(11月、2月)院内がん登録実務者ミーティングを企画運営し実務者の知識向上、情報共有等を図る</p> <p>3. 実務者相談対応で不明な点は、国立がん研究センターへの問い合わせや最新の情報共有・SNS質問回答把握等をしながら支援していく</p>
	<p>がん登録実務の精度向上(院内)</p>	<p>1. がん登録実務者の技能向上が求められる中、初級認定実務者1が1名減となりマンパワーが減少している</p> <p>2. 指定要件「院内がん登録データを活用し、登録数や各治療法をホームページにて広報すること」が示されており集計・分析技能の向上が求められている</p> <p>3. オンライン届出は、セキュリティ対応や品質管理チェックが登録改訂等に伴い作業が難しくなっている</p> <p>4. 2016年症例以降の生存率集計(全国がん登録)が未定である</p>	<p>【院内業務】</p> <p>1. 登録の精度とマンパワーを上げるために新人教育を行い認定者を育成する。新人は国がん主催のEラーニング視聴なども行いルールを把握する。それ以外の実務者は認定研修に参加し最新ルールを把握し日々の実務に反映させる</p> <p>2. 国の公表時期に合わせて自施設ホームページ更新を目指す</p> <p>3. オンライン届出がスムーズに行き登録保存性・機能性が高く、より経済的で効率のよいシステム構築に取り組んでいく</p> <p>4. 運用管理規程に沿ってセキュリティ対策を継続し、全国がん登録の生存率集計に合わせて予後還元が受けられる準備をする</p>	令和8年3月	△	概ね達成	<p>1. 新規採用者の育成に取り組み、1名が初級認定を取得できた。また、中級認定者3名は認定研修に参加し、ルールの変更など最新情報を日々の実務に反映している</p> <p>2. 国の2024年公表があり次第、自施設のホームページに5年統計2020～2024年症例の広報する予定で準備している</p> <p>3. VPNやGTS機能を使用する届出方法にて安全に院内がん登録・全国がん登録の同時届出がスムーズに行えた。また、より経済的なシステム構築に取り組み2025年症例より新システムで登録を開始できた</p> <p>4. 運用管理規程・セキュリティ対策に沿って入退室記録などセキュリティ強化を継続した。また、がん登録員会の承認を得て規程の改訂を実施し全国がん登録予後還元申請をする準備を行った</p>	継続	<p>1. 次年度も引き続き実務者の育成と登録の精度を上げるために国がん主催の研修に参加する</p> <p>2. ホームページの最新データ更新を行う</p> <p>3. 新システムで国立がん研究センターの届出が行えるよう開発を推進していく。また、届出方法の新たな改善点を理解し安全に期限内届出を行う</p> <p>4. 運用管理規程に従いセキュリティ対策を行い、生存率調査の時期に合わせて予後還元が受けられるように準備する。また、入退室記録などセキュリティ強化を継続する。新病院の電子カルテシステムも考慮し経済的で効率のよいシステム構築に取り組んでいく</p>

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。